

花川南小・中学校の 一日防災学習

地域が一体となって学校運営に取り組む「コミュニティ・スクール」の一環として、令和5年から防災をテーマに花川南小・中学校合同で「一日防災学習」を実施しています。

当日は講演会のほか、各学年でさまざまな防災学習に取り組めます。小学校から中学校までの9年間にわたり学びを継続することで、こどもたちが地域の防災活動に関わる力を養うことが目的です。

地域の皆さんも参加・参観いただけます。こどもたちの学びを見守りながら、防災について考えてみませんか？

日 時

31(土) 8時40分～11時30分

場所・問合せ

花川南小学校(花川南6・5) ☎73・1924

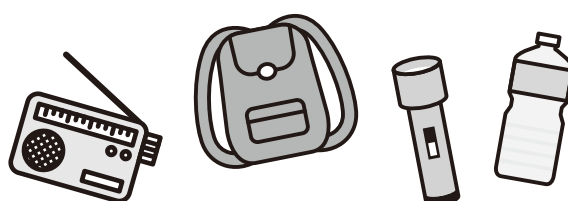
花川南中学校(花川南9・4) ☎73・6104



講演会	各学年の防災学習の内容	
花川南小学校 対 象 小学1～4年生 講 師 講演家 三浦浩氏	学 年	学習内容
	小学1年生	防災かるた
	小学2年生	DVD「釜石の“奇跡”」視聴
	小学3年生	防災グッズづくり
	小学4年生	防災カードゲーム
花川南中学校 対 象 小学5～6年生、中学生 講 師 石川県輪島市教育委員会 教育長 小川正氏	小学5年生	南中備蓄庫見学
	小学6年生	講座「石狩市で想定される災害」
	中学1年生	防災タイムライン
	中学2年生	VR地震・AR消火体験など
	中学3年生	避難所運営ゲーム



こちらの申込フォームから
地域の皆さんの参加・参観を
28(水)まで受け付けています。



“ザ・消防”が語る 「防災と救命」 にかける思い

石狩市防災マスター連絡会

代表 藤木一夫さん

「ザ・消防」——藤木一夫さんは自らの歩みを、迷いなくそう表現します。札幌市消防局の職員として常に人命救助の最前線に立ち、その優れた功績により受けた表彰の数は20回。まさに「救命のプロ」です。

その藤木さんが地域の防災活動へ市民の積極的な参加を促す、石狩市独自の「石狩市防災マスター」の取り組みに感銘を受け、一期生として認定されたのは、現役を退いた翌年の平成26年のこと。

「長年、救急や防災の業務に携わってきましたが、市民が主体となる、これほど先進的な制度は聞いたことがありませんでした。私も一市民として参加し、経験を地域に還元しながら学びを深めたいと強く願ったのです」

活動を始めた当初から、藤木さんは一つの構想を温めていました。それは、防災マスターの仲間が孤立せず、共に学び、高め合える「組織」の創設です。

大切な家族、隣人や支援を必要とする人たちを守り抜く。そのためにも万が一の「備え」は欠かせません。そして、確かな知識と技術を持った人材の育成こそが、石狩の未来を守る最大の「備え」になるはず



その思いから誕生した「石狩市防災マスター連絡会」には、現在42人が在籍しています。消防や警察、自衛隊などのOBから、現役の会社員や介護職員、主婦まで、その経歴は実に多彩。月に一度集まり、真剣ながらも和気あいあいと勉強会を重ねています。

「まずは全員に応急手当普及員の資格を取得してもらい、救命講習の講師として活躍できる土台を作ります。ここで培った確かな知識や技術を、今度はそれぞれが所属する町内会や自治会に持ち帰って広めてもらおう。これこそが防災マスターの究極の使命であり、この積み重ねが、地域の防災力を高めていくと信じています」

藤木さんが掲げる目標は、「一町内会に一人の防災マスターがいるま